

2024年3月期 第3四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社
<https://www.teac.co.jp/jp/>
証券コード：6803

2024年2月14日

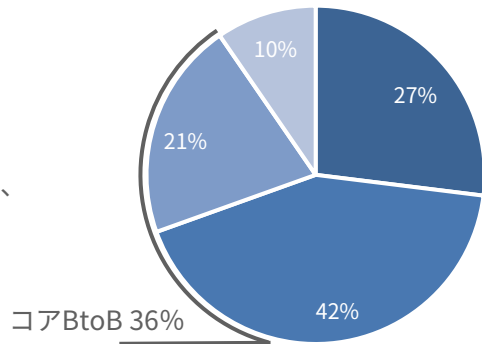
2024/03期 Q3累計 業績概要

■ 2024/03期 第3四半期累計は、前年同期比減収減益（損失計上）

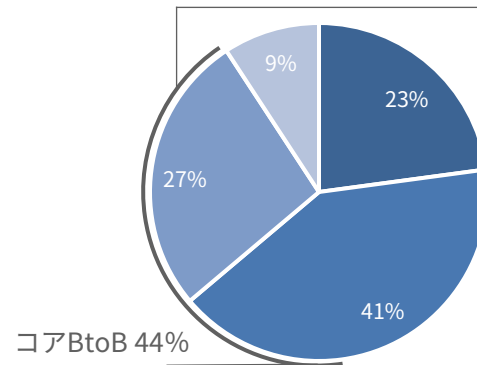
	2023/03期			2024/03期		前年同期比	(百万円)
	Q3累計	Q1	Q2	Q3	Q3累計		
売上収益	11,480	3,349	3,977	3,890	11,215	△ 265 (△ 2.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 第3四半期単独（10-12月期）は前年同期比増収。第3四半期累計は、音響機器事業が10%増収の一方、情報機器事業とその他事業の減収により、全社は前年同期比減収
営業利益（△損失）	401	△ 194	148	148	101	△ 301 (△ 74.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 第3四半期単独は前年同期比増益。第3四半期累計は、第2四半期累計の損失挽回に至らず、前年同期比減益
税引前利益（△損失）	216	△ 389	32	179	△ 178	△ 394 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 116百万円の為替差損が発生し、損失計上 <ul style="list-style-type: none"> - 詳細は「金融費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」（2024年2月14日発表）をご参照ください
四半期利益（△損失）	181	△ 400	32	181	△ 187	△ 369 (-)	<ul style="list-style-type: none"> 第3四半期単独は前年同期比増益。第3四半期累計は、第2四半期累計の損失挽回に至らず、損失計上
資本合計	2,871				3,124	+ 253 (+ 8.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期比増
1株当たり親会社 所有者帰属持分	99.66円				108.45円	+ 8.79円 (+ 8.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期比増
自己資本比率	24.1%				27.0%	+ 2.9ppt	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期比増
フリー キャッシュフロー	△ 768				△ 44	+ 724	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期比増。第3四半期単独は222百万円の黒字（前年同期比+455百万円）

2024/03期 Q3累計 セグメント別・地域別構成比

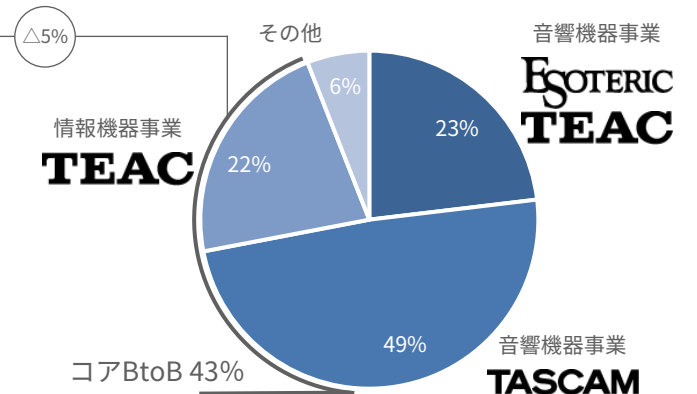
2022/03期 Q3累計 売上収益
11,578百万円



2023/03期 Q3累計 売上収益
11,480百万円



2024/03期 Q3累計 売上収益
11,215百万円

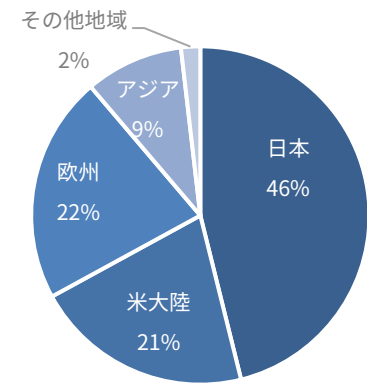
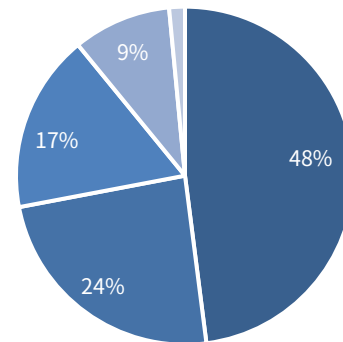
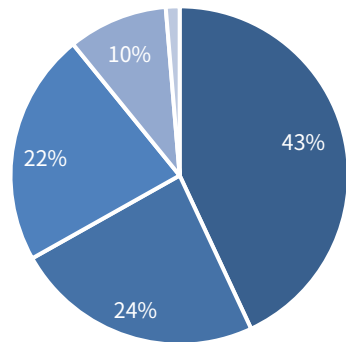


■ セグメント別

- TASCAM BtoBは好調も情報機器の不振により全社BtoB事業は△5%減収
- 事業の選択と集中を継続、その他事業の構成比は△3ppt減

■ 地域別

- 欧州は前年同期比+24%増収、構成比も+5ppt増
- 米大陸は、その他事業の縮小影響により構成比が△3ppt減

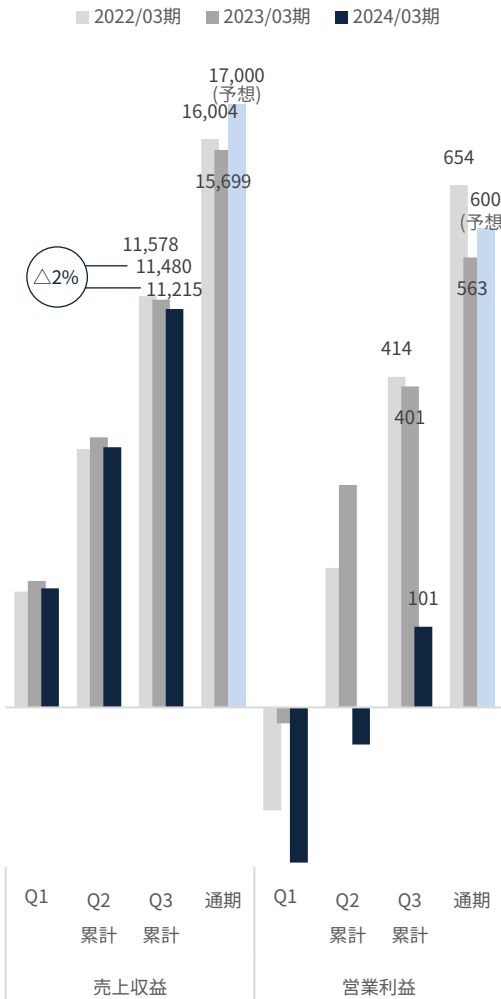


註： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」に含む

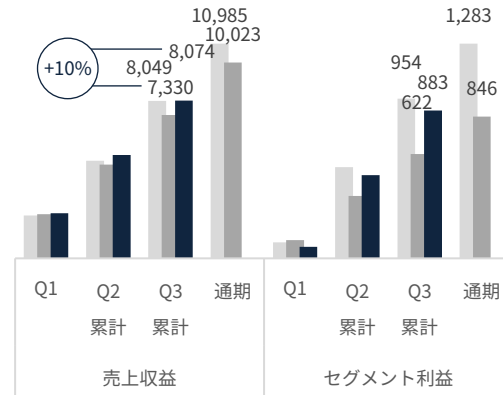
2024/03期 Q3累計 セグメント別業績

(百万円)

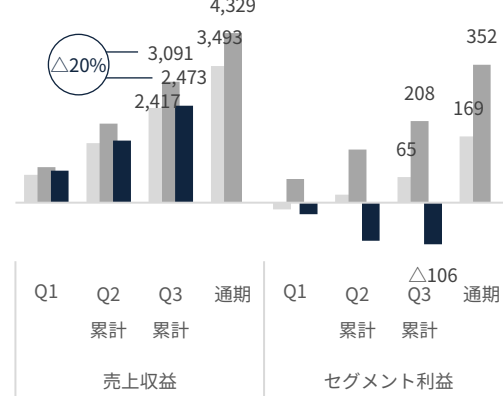
売上収益・営業利益



音響機器事業 売上収益・セグメント利益



情報機器事業 売上収益・セグメント利益



その他

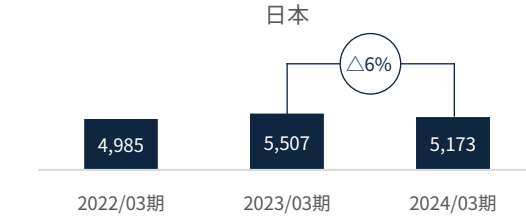
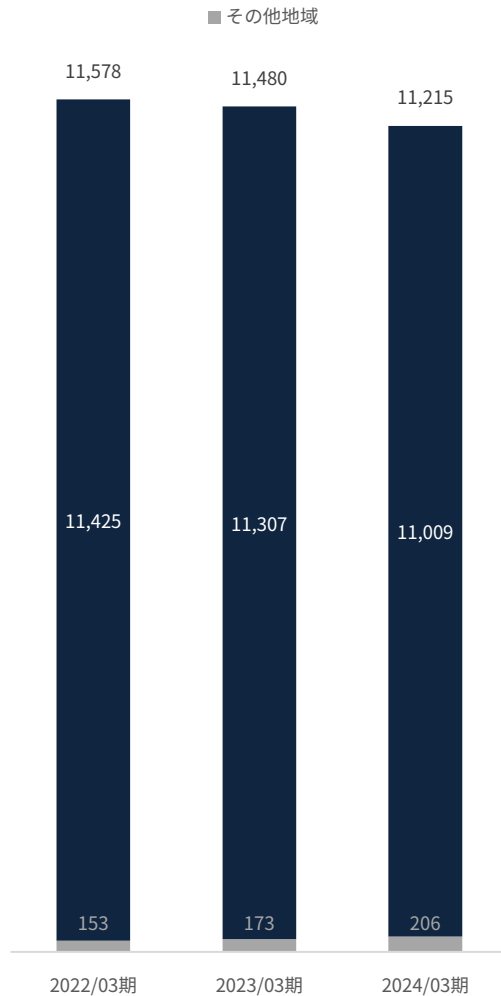
- ・ **ハイエンドオーディオ機器 (ESOTERICブランド)**
 - SACDプレーヤーラインナップの堅調な販売と、前期に上市したGrandiosoシリーズのセパレートアンプや新たに販売を開始した高音質LPレコードが好調に推移したことから、前年同期比で増収
- ・ **プレミアムオーディオ機器 (TEACブランド)**
 - 最上位のReference 700シリーズ、フルサイズコンポが堅調に推移し、国内は前年同期比で増収となったが、海外では中国の景気後退や米国での販売代理店変更の影響により販売が伸び悩み、前年同期比で減収
- ・ **音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)**
 - BtoB事業においては、設備市場向け主力録音再生機の販売が堅調に推移したことに加え、業務用ミキサーの販売が好調となり、前年同期比売上増に貢献。BtoC事業においても、年末セールスシーズンを背景に、クリエイター向け主力商品が海外を中心に好調な販売。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前年同期比で増収
- ・ **計測機器**
 - データレコーダーにおいては、海外向け出荷が伸び悩むも、国内は計測需要が回復し出荷台数も増加したことから、全体としては堅調に推移。センサーおよびデジタル指示計においては、シリコンウエハー製造装置向けなど上流市場は好調に推移したが、その他半導体装置市場向け出荷が低調に推移したことから、計測機器全体では前年同期比で減収
- ・ **医用画像記録再生機器**
 - 4K手術画像記録用レコーダーが国内・海外ともに好調に推移。特に大手検査装置メーカーのオプション採用が決まり、今後更なる成長を見込む。しかしながら、国内消化器内視鏡の大幅な出荷減と、欧州市場におけるFull HDレコーダーの販売不振をカバーできず、同部門では前年同期比で減収
- ・ **機内エンターテインメント機器**
 - 海外顧客向けの保守部品販売が前期で終了したことから、同部門では前年同期比で減収
- ・ **ソリューションビジネス**
 - 受託開発案件の受注が低調であったこと、また医用向けサーバーの受注が減少したことから、前年同期比で減収
- ・ 前年同期比減収減益

注： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

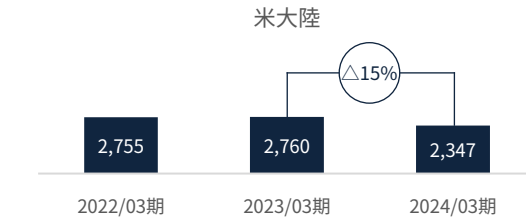
2024/03期 Q3累計 地域別業績

(百万円、+は前年同期比増収、-は同減収)

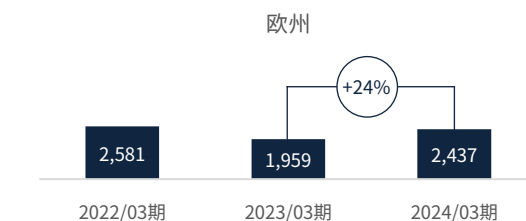
Q3累計 売上収益



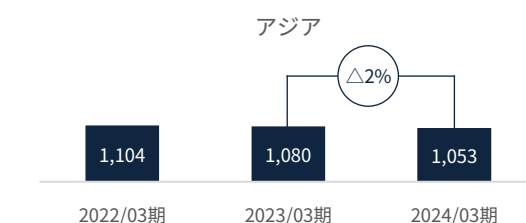
- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - ハイエンドオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
 - + 機内エンターテインメント機器
 - 計測機器、医用画像記録再生機器、ソリューションビジネス



- 音響機器事業
 - + ハイエンドオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
 - プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
 - + 医用画像記録再生機器
 - 計測機器、機内エンターテインメント機器 (保守用部品)



- 音響機器事業
 - + ハイエンドオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - プレミアムオーディオ機器
- 情報機器事業
 - + 計測機器
 - 医用画像記録再生機器



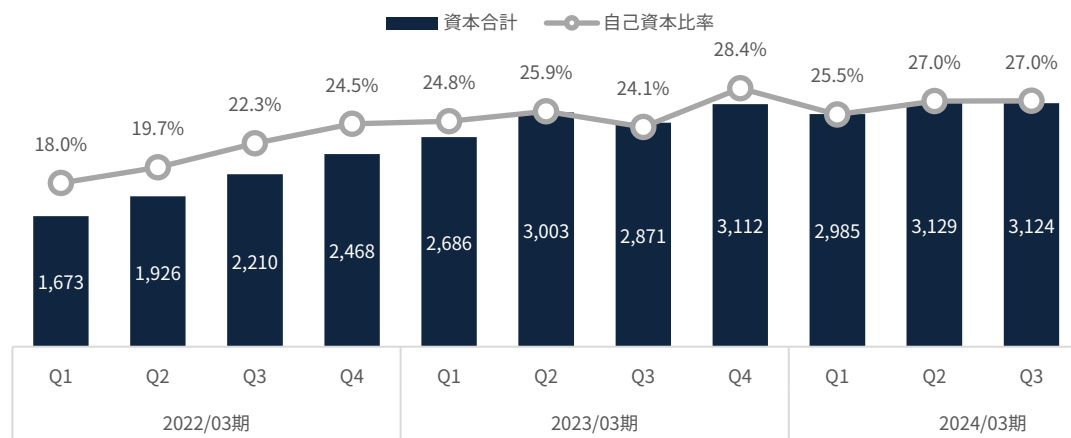
- 音響機器事業
 - + 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - ハイエンドオーディオ機器、プレミアムオーディオ機器
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器
 -

註： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

2024/03期 Q3累計 自己資本比率・フリーキャッシュフロー

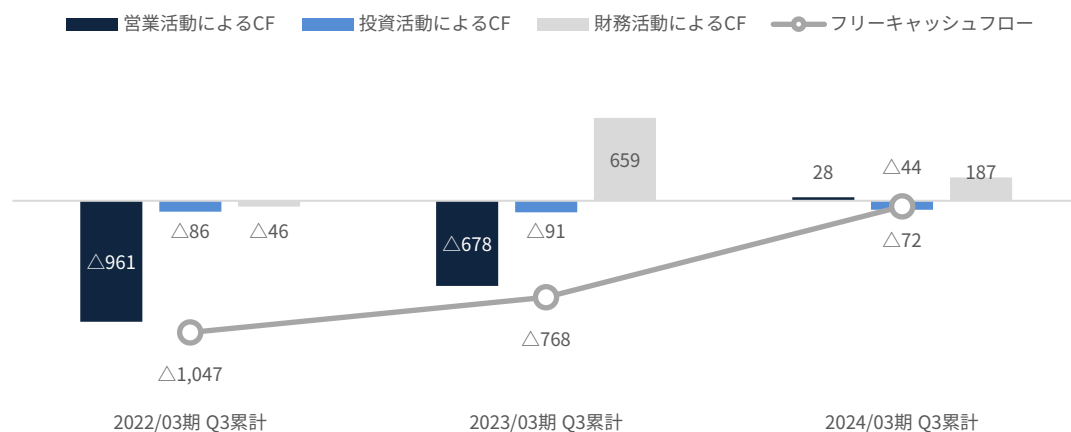
(百万円)

自己資本比率



- 資本合計：前年同期比+ 253百万円 (+ 8.8%) 増、前期末比+ 12百万円 (+ 0.4%) 増
- 自己資本比率：前年同期比+ 2.9ppt増、前期末比△ 1.4ppt減

フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：営業キャッシュフローは前年同期比+705百万円増の28百万円へ黒字転換。その結果、フリーキャッシュフローは前年同期比+ 724百万円増の△ 44百万円へ改善

■ 2024/03期 通期予想は、前回予想（2023年5月発表）を据え置く

	2023/03期	2024/03期 予想	前期比	(百万円)
売上収益	15,699	17,000	+ 1,301 (+ 8.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の適時導入と製品ポートフォリオ再編の加速、当社が比較優位性を持つ製品の価格改定の実施、主要市場における販売体制の再構築を進め増収を計画
営業利益	563	600	+ 37 (+ 6.5%)	<ul style="list-style-type: none"> インフレ、投資停滞、流通在庫の滞留などのリスクに対応すべく、デジタルとリアル両面でマーケティング投資増を計画
税引前利益	341	400	+ 59 (+ 17.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 増益計画
当期利益	305	320	+ 15 (+ 4.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 増益計画
資本合計	3,112	-	-	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	108.02円	-	-	
自己資本比率	28.4%	-	-	
フリー キャッシュフロー	+ 192	-	-	

■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

- Grandioso C1X soloが「Stereo Soundグランプリ2023」を受賞
Grandioso C1X solo/S1Xが「オーディオ銘機賞 2024」特別大賞を受賞
F-02がStereo誌「ベストバイ・コンポ2023」イヤークンポを受賞
他多数受賞

- 「VGP 2024」、「ベストバイ・コンポ 2023」、「第42回MJテクノロジー・オブ・ザ・イヤーズ 2023」にて、VRDS-701など多数の製品が「金賞」をはじめとする各賞を受賞、UD-701Nは海外レビューサイトheadphone.guruにてProduct of the yearを獲得

ESOTERIC Grandioso C1X solo



ESOTERIC Grandioso C1X



ESOTERIC F-02



ESOTERIC Grandioso C1X solo / Esoteric Grandioso S1X



TEAC VRDS-701



TEAC UD-701N



■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- 2023年11月に幕張メッセで開催された国内最大規模の業務用映像・音響の展示会「Inter BEE 2023」に出展

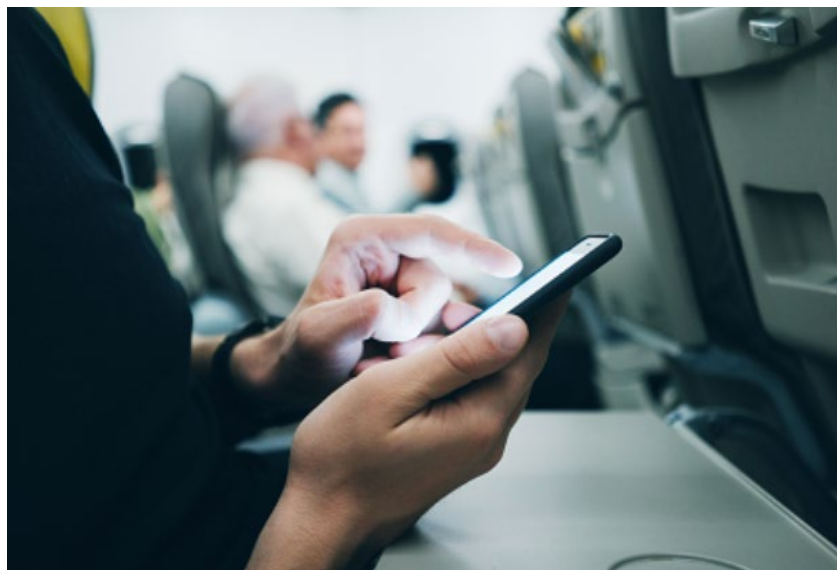
業務用デジタルミキサー『Sonicviewシリーズ』および業務用オーディオネットワーク伝送規格Danteに対応したステージボックス『SB-16D』を中心に展示。放送業界の新スタンダードと期待される映像・音声ネットワーク伝送規格SMPTE ST2110（2024年夏発売予定）の対応も告知し、多くの業界関係者からの注目を集めた。また、設備音響用ミキシングアンプ『MA-BT240』を世界初お披露目するなど、用途別に幅広いシステムソリューションの展示を行い、会期中絶えることなく多くの来場者で賑わった。



■ 情報機器事業 機内エンターテインメント機器

- ・ 仏PXCom社とIFEシステムで業務提携

フランスに本社を置くPXCom社（CEO：Cyril Jean）は旅客機でのエンターテインメントコンテンツ配信・機内販売システム等のデジタルプラットフォーム開発と販売を手掛けるトータル・システム・インテグレーターで、欧州をはじめ世界各国の航空会社への数多くの導入実績を持つ。今般、PXCom社のシステムを搭載するIFE用サーバーとして、ティアック『PortaStream』の第2世代となる新製品『PS-V50 GEN2』を採用することで両者が合意。ティアックは今後もPXCom社同様のシステム・インテグレーターのパートナー開拓に注力し、海外市場における『PS-V50 GEN2』の拡販に取り組む。



財務データシート (IFRS)

		2022/03期				2023/03期				2024/03期					
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
貸借対照表	流動資産	7,180	7,723	7,939	8,210	9,042	9,886	9,259	8,351	9,027	8,930	8,969			
	現金及び現金同等物	1,440	955	789	1,304	1,353	1,739	1,221	1,196	1,553	1,086	1,369			
	営業債権及びその他の債権	2,167	2,750	2,877	3,154	2,799	2,871	2,809	2,925	2,671	2,938	2,603			
	棚卸資産	3,211	3,651	3,893	3,400	4,566	4,998	4,877	3,862	4,512	4,638	4,662			
	その他の流動資産	362	366	381	352	324	278	352	368	291	269	336			
	非流動資産	2,119	2,043	1,955	1,870	1,804	1,720	2,634	2,607	2,673	2,663	2,593			
	資産合計	9,299	9,766	9,894	10,081	10,845	11,606	11,893	10,958	11,700	11,594	11,562			
	流動負債	5,833	5,845	5,822	5,852	6,266	6,430	6,161	5,316	6,242	6,018	6,249			
	社債及び借入金	2,571	2,588	2,574	2,467	2,904	3,030	2,900	2,042	2,749	2,663	2,965			
	リース負債	352	368	371	312	232	164	264	448	519	357	359			
	営業債務及びその他の債務	1,651	1,559	1,557	1,458	1,759	1,798	1,646	1,281	1,615	1,566	1,571			
	その他の流動負債	1,258	1,329	1,320	1,615	1,371	1,439	1,351	1,544	1,358	1,432	1,354			
	非流動負債	1,794	1,995	1,862	1,761	1,893	2,172	2,861	2,531	2,474	2,446	2,189			
	社債及び借入金	332	697	686	619	820	1,189	1,113	1,083	977	829	690			
	リース負債	259	167	92	68	64	42	870	685	790	913	849			
	長期未払金	1,096	1,044	991	920	833	793	729	689	622	626	573			
	その他の非流動負債	106	86	93	154	177	149	149	75	86	79	78			
	負債合計	7,627	7,839	7,685	7,613	8,160	8,603	9,022	7,847	8,715	8,465	8,439			
	資本合計	1,673	1,926	2,210	2,468	2,686	3,003	2,871	3,112	2,985	3,129	3,124			
	親会社の所有者に帰属する持分合計	1,673	1,926	2,210	2,468	2,686	3,003	2,871	3,112	2,985	3,129	3,124			
非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
負債及び資本合計	9,299	9,766	9,894	10,081	10,845	11,606	11,893	10,958	11,700	11,594	11,562				
親会社所有者帰属持分比率	18.0%	19.7%	22.3%	24.5%	24.8%	25.9%	24.1%	28.4%	25.5%	27.0%	27.0%				
損益計算書	売上収益	3,263	4,011	4,304	4,426	16,004	3,557	4,044	3,879	4,219	15,699	3,349	3,977	3,890	11,215
	音響機器事業	2,193	2,798	3,058	2,935	10,985	2,262	2,531	2,537	2,693	10,023	2,313	2,974	2,787	8,074
	情報機器事業	710	813	895	1,076	3,493	907	1,108	1,075	1,238	4,329	815	774	884	2,473
	その他	360	400	352	415	1,527	388	405	267	288	1,347	221	229	218	668
	セグメント利益	115	533	474	501	1,623	226	485	345	398	1,453	75	385	384	843
	音響機器事業	97	448	410	329	1,283	109	265	249	224	846	69	427	387	883
	情報機器事業	△17	38	45	103	169	60	76	72	144	352	△29	△68	△9	△106
	その他	36	47	20	69	171	57	144	24	30	255	35	26	6	67
	個別開示項目前営業利益	△129	304	239	240	654	△20	299	123	162	563	△194	148	148	101
	個別開示項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業利益	△129	304	239	240	654	△20	299	123	162	563	△194	148	148	101
	税引前利益	△167	219	198	231	481	△104	138	182	126	341	△389	32	179	△178
	親会社の所有者に帰属する当期利益	△174	210	187	168	392	△109	140	150	124	305	△400	32	181	△187
	キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	△174	△751	△36	808	△153	△485	11	△204	972	294	△113	△98	239
投資活動によるキャッシュフロー		△56	△10	△20	△50	△136	△23	△38	△29	△12	△102	△36	△18	△17	△72
財務活動によるキャッシュフロー		△203	283	△126	△253	△299	550	352	△242	△992	△333	446	△349	90	187
フリーキャッシュフロー		△230	△761	△56	758	△289	△508	△27	△233	960	192	△149	△116	222	△44

注： 2023/03期より産業用光ドライブ事業の報告セグメントを「情報機器事業」から「その他」へ変更。上記では、過年度実績対比を目的とし2022/03期についても産業用光ドライブ事業は「その他」を含む

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与える要素としてはこれらに限るものではありません。